

府民公開講座 開催報告

普及啓発委員 岩津 優希

令和7年7月13日(日)、東大阪市にて「令和7年度 第1回府民公開講座」を開催いたしました。

今回は「介護保険の利用方法」「介護保険が必要になる前に ～日々できる養生法のご紹介～」という2つのテーマを中心に、介護保険制度の基本的な理解を深めることを目的とし、講師は永澤至子先生にご担当いただきました。

会場は、NPO法人ビーボ・エールスペース様のご協力のもとお借りし、朝から非常に暑い中ではありましたが、9名の参加者にお越しいただきました。少人数制での開催となったことで、講師との距離が近く、質問がしやすい和やかな雰囲気生まれ、会場全体に一体感がありました。

講座では、制度の具体的な利用方法や申請の流れなど、日頃なかなか知ることのできない内容を分かりやすく解説いただき、「とても参考になった」「もっと早く知っておきたかった」といった声が多く寄せられました。

また最後には、介護保険に関するクイズを行い、楽しく学べる時間となりました。

後半では、「鍼灸は予防の医学である」という観点から、日常的に取り入れられるセルフケアとしてのお灸体験を実施。

「合谷(ごうこく)」「足三里(あしさんり)」という代表的なツボに、せんねん灸を実際に据える体験を行いました。初めてお灸を体験するという方も多く、「気持ちよかった」「家でもやってみたい」といった声が聞かれました。

質疑応答では活発なやり取りが見られ、参加者の意欲や関心の高さがうかがえる講座となりました。

なお、昨年度より小規模開催へと方針転換を行い、参加者との距離感を大切にするスタイルへと移行しておりますが、今回もその効果が感じられる内容となりました。

また、前年度より企業協力のお願いを続けてまいりましたが、今回よりセネファ株式会社様より「せんねん灸」のサンプルをご提供いただき、参加者へのお土産とさせていただきました。

「お灸を試してみたかった」「お土産まであってうれしい」といった声も多く、満足度の向上にもつながりました。セネファ株式会社様にはこの場をお借りして心より感謝申し上げます。



CONTENTS

F1 府民公開講座 開催報告

F2 府民公開講座 開催報告

F3 府民公開講座 開催報告

F4 第24回大阪府障がい者スポーツ大会
スポーツ鍼灸ボランティア活動報告

F5 令和7年度
8月・9月研修事業のご案内

F6 霊枢勉強会報告

F7 霊枢勉強会報告

F8 大阪府鍼灸師会 学術講習会より
講習会不参加理由アンケートのお願い

公益社団法人大阪府鍼灸師会
主要行事予定表

広告募集のお知らせ

府民公開講座 開催報告

アンケート総評

アンケート結果からは、講座内容・スタッフ対応ともに非常に高い評価をいただき、セルフケアや鍼灸への関心の高さもうかがえました。

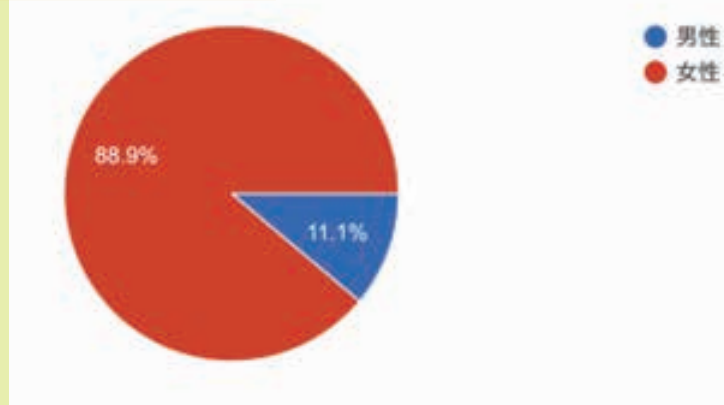
また、参加のきっかけは「知人からの紹介」が多く、リピーター希望も多数見られ、地域に根ざした講座として定着しつつある印象です。

今後もこうした講座を通じて、府民の皆さまにとって「身近で役立つ情報」を発信するとともに、鍼灸の理解促進・普及啓発に努めてまいります。



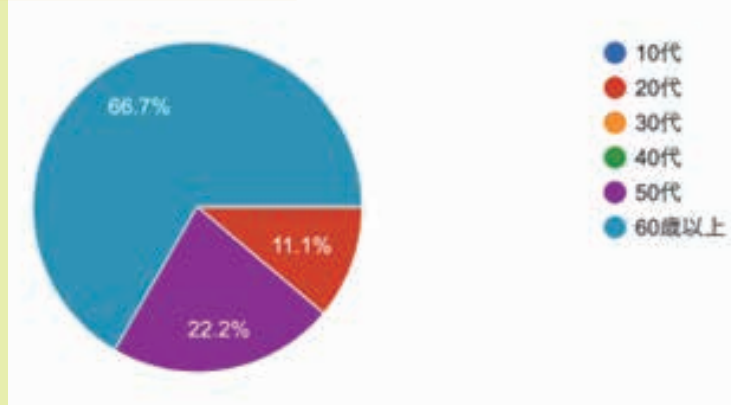
性別

9件の回答



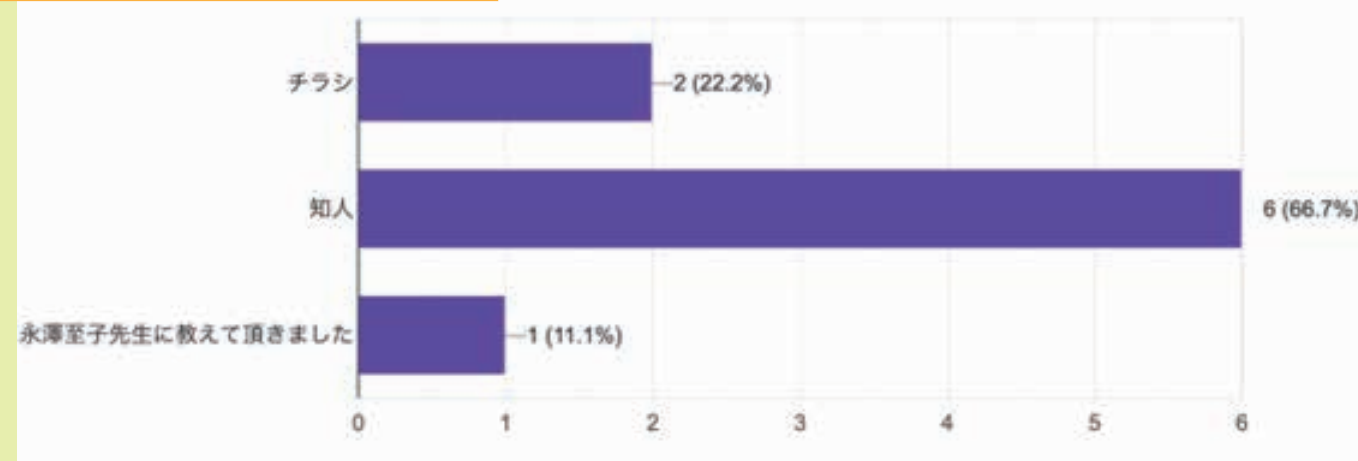
年齢

9件の回答



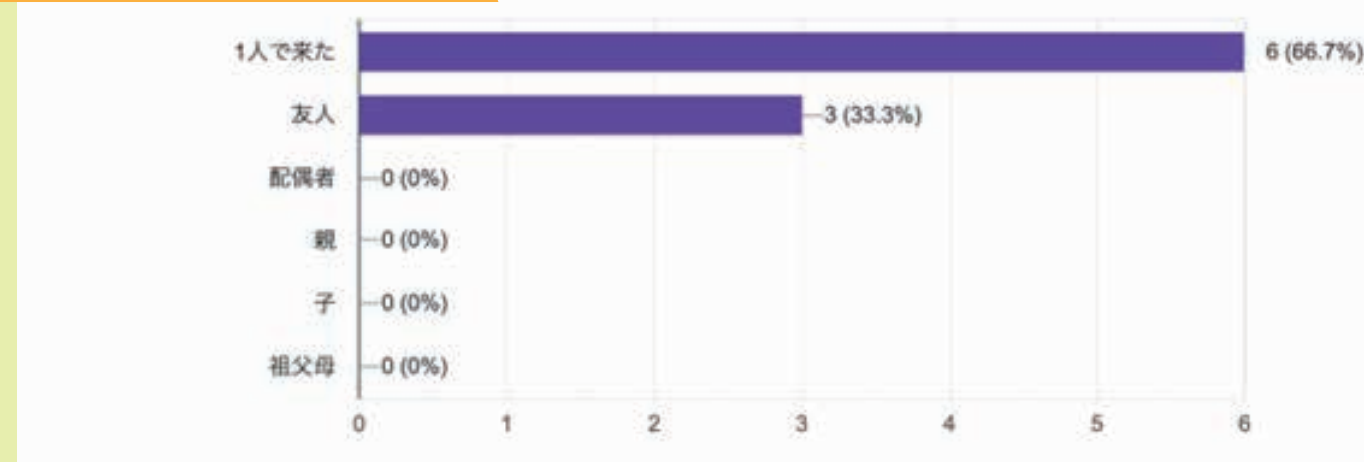
ご来場になったきっかけ

9件の回答



ご来場いただいたお連れ様

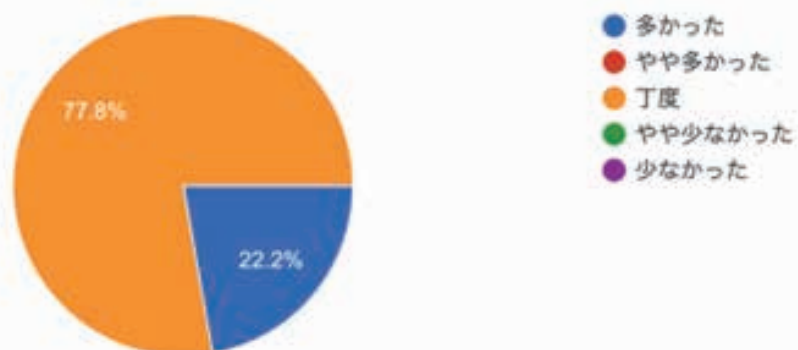
9件の回答



府民公開講座 開催報告

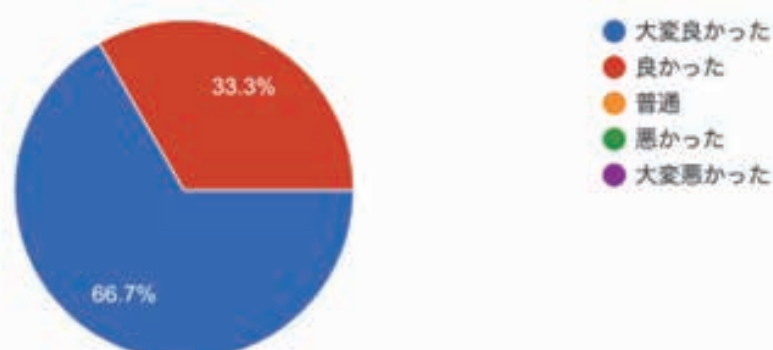
講習のボリューム

9 件の回答



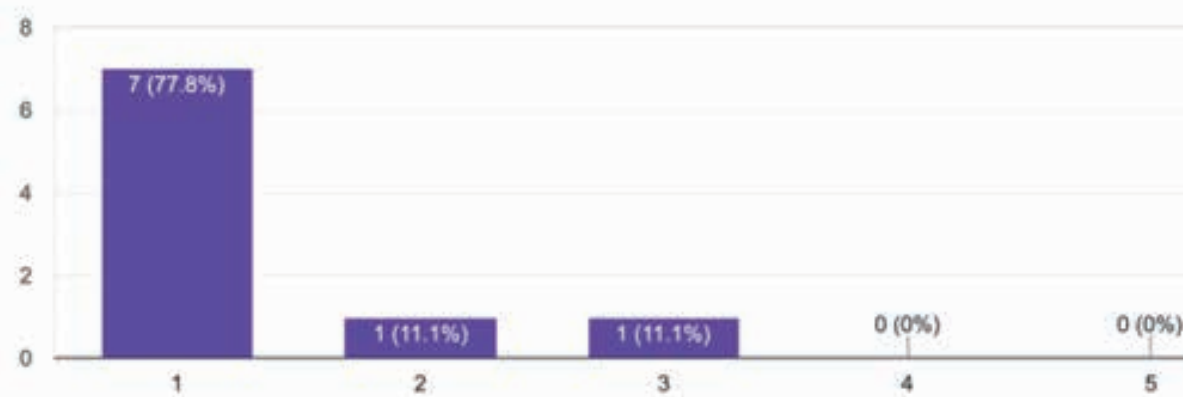
スタッフの対応

9 件の回答



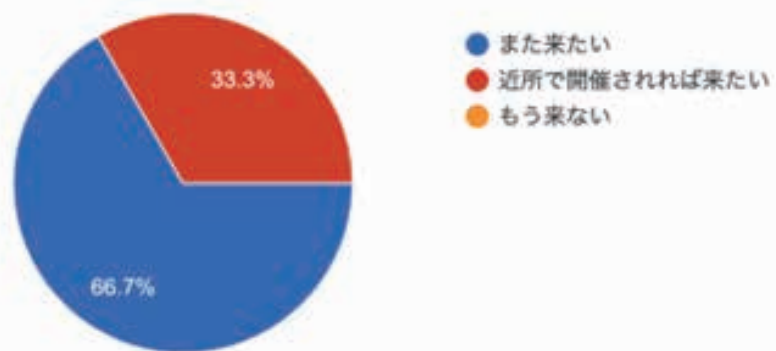
講習の内容

9 件の回答



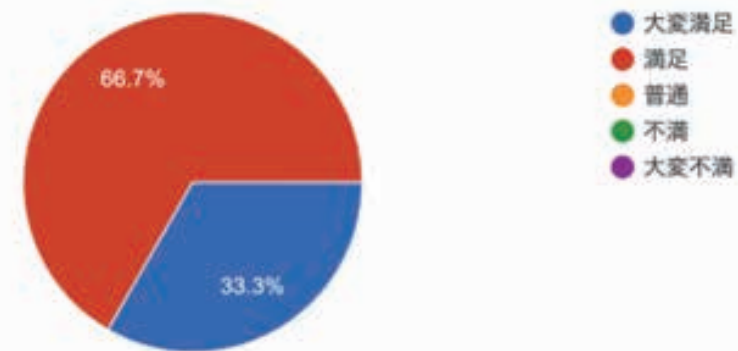
次の講座が開催されたら

9 件の回答



講座の総合的な満足度

9 件の回答



自由記述

2 件の回答

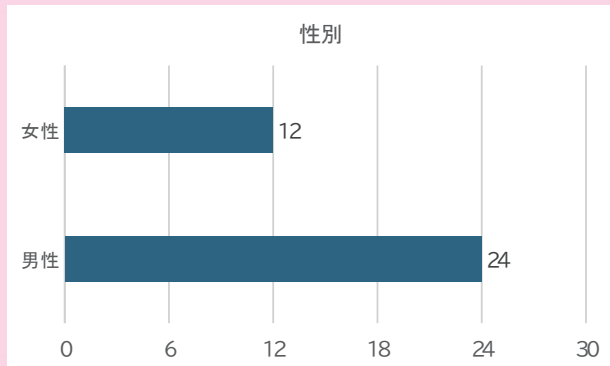
- 今後とても役に立つ情報でした。ありがとうございました。
- あまり気にかけていなかった介護保険料の通知で、年間支払金額の多さに少しびっくりしてもう少し介護について知りたかった。

第 24 回 大阪府障がい者スポーツ大会 スポーツ鍼灸ボランティア 活動報告

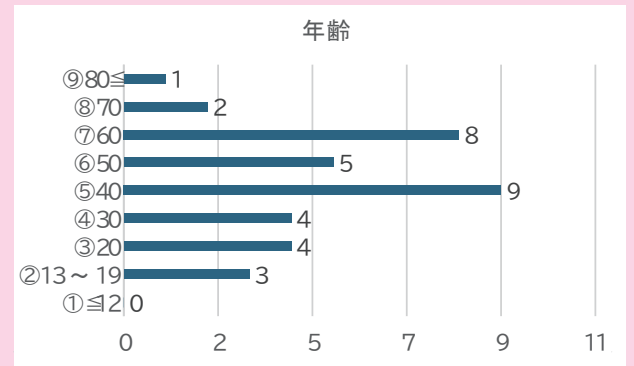
2025年5月12日(日)
万博記念競技場

第24回大阪府障がい者スポーツ大会・スポーツ鍼灸ボランティア活動報告 活動日：2025年5月12日(日)

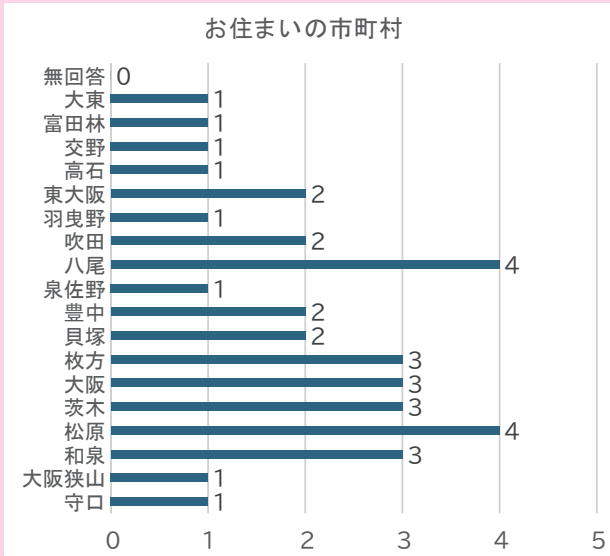
※次のデータはサービスを利用したランナー36名の問診票により数値化したものである。



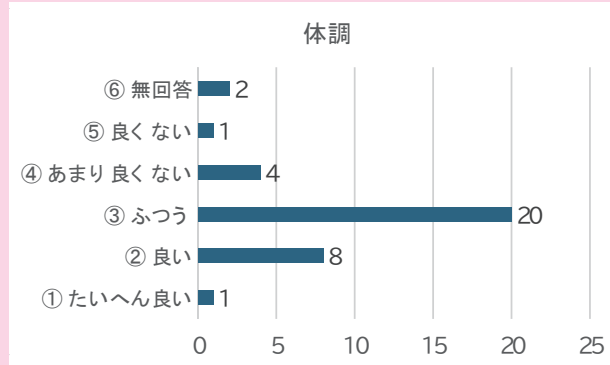
Graph 1 結果：男性の利用の回答は最も多く24名で、全体の66.7%であった。



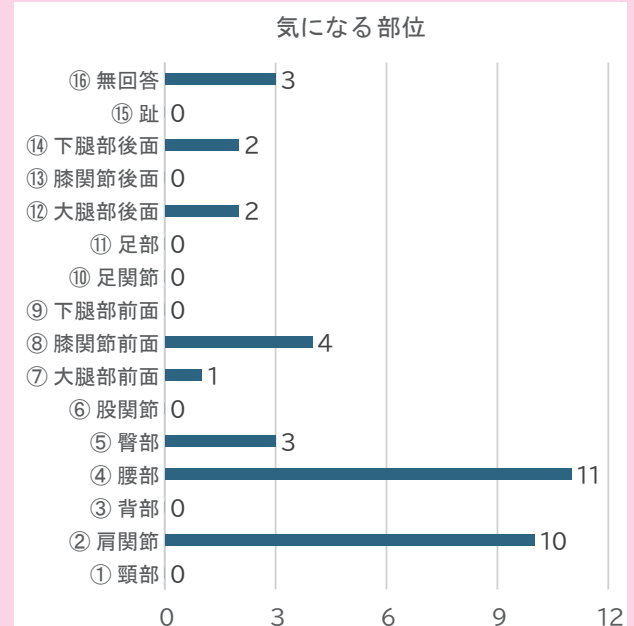
Graph 2 結果：「⑤40歳代」の回答は最も多く9名で、全体の25.0%であった。



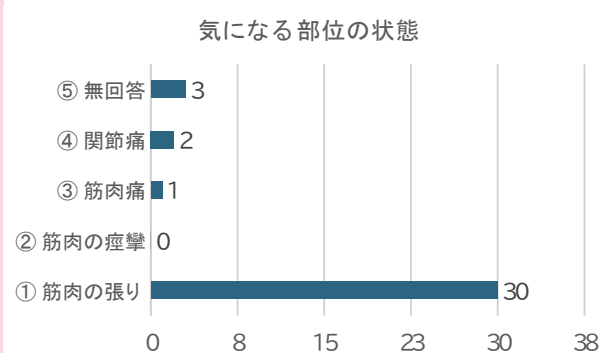
Graph 3 結果：松原市および八尾市の回答は最も多く4名で、それぞれ全体の11.1%であった。



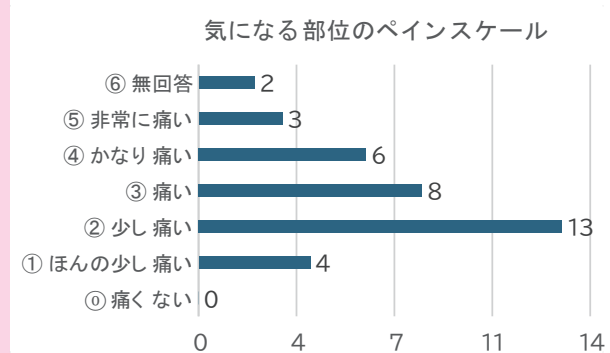
Graph 4 結果：「③ふつう」の回答は最も多く20名で、全体の55.6%であった。



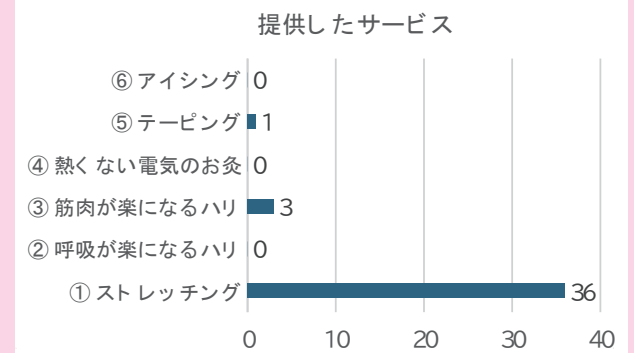
Graph 5 結果：「④腰部」の回答は最も多く11名で、全体の30.6%であった。



Graph 6 結果：「①」の回答は最も多く30名で、全体の83.3%であった。



Graph 7 結果：「②少し痛い」の回答は最も多く13名で、全体の36.1%であった。



Graph 8 結果：「①ストレッチング」の回答は最も多く36名で、全体の100%であった。(複数回答あり)

考 察

スポーツ鍼灸プロジェクト委員会
委員長 若杉昌司

5 年前までは、大阪府鍼灸師会のケアステーションのあるフロアーは市町村別に陣を取る参加者でごった返し、種目の点呼・招集の際の参加者の移動は人の波に注意しなければならないように見受けられた。

今年のケアステーションを利用した参加者は 36 名（市町村 18 団体）であり、昨年のケアステーションを利用した参加者は 62 名（市町村 24 団体）であり、昨年と比較してケアステーションの利用率は 41.9%減少（市町村 25%減少）したことになる。

確かに、競技が終了する時刻が近づくにつれ、フロアーにはケアステーションの関係者以外は人っ子一人いなかったのを目の当たりにしたのは初めての光景でした。

兎にも角にも、無事に鍼灸ボランティア活動を終えたことに安堵しており、参加いただいた会員にはこの場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。

！ 令和7年度 8月・9月研修事業のご案内

令和7年度8月、9月研修事業のお知らせです。
下記の要綱をご覧ください、会員の先生方におかれましては、
万障繰り合わせの上、ご参加お待ちしております。
詳細は、研修会案内をご参照ください

取得単位

(公社)大阪府鍼灸師会生涯研修〈2単位〉
(公財)東洋療法研修試験財団生涯研修講座〈2単位〉

受講料

会 員:1,000円

(日鍼会・大鍼師会・柔整師会・全日本鍼灸学会の会員含む)

会員外:2,000円

学 生:無料

※会費種別は自己申告制です。
運営から種別の確認があった場合、速やかに確認できる様にご準備下さい。

参加申込み方法

先着順(会館参加 30名 WEB参加 300名)

QRコード・当会ホームページ manaable (マナブル) から
参加申し込み後、受講料をお振り込みにてお支払い下さい。



<https://harikyū.manaable.com/>

お申込み・お振込み締切

8月度 8月 6日(水) ※お申込み開始は7月下旬より

9月度 9月10日(水) ※お申込み開始は8月12日より

※申し込みは、事前参加申し込みと、入金の確認(WEB受講)で完了となります。

令和7年度
第3回(9月度)

学術講習会

9/14
日曜日

会場

午前の部: 大阪府鍼灸師会館 3 階 または WEB 配信 (ZOOM ミーティング)
午後の部: 大阪府鍼灸師会館 3 階 または WEB 配信 (ZOOM ミーティング)

ハイブリッド開催
(会館受講+WEB受講)

午前の部

午前 10:00～12:00 (アーカイブあり)

「霊枢勉強会」

講師 日本鍼灸研究会 代表 篠原 孝市 先生

午後の部

学術講習会

全日本鍼灸学会C講座

テーマ 1 午後 1:30～3:00 (アーカイブあり)

「経絡治療の基礎と本質」

講師 橋本 厳 先生 (経絡治療学会 理事 いわなみ鍼灸院 院長)

テーマ 2 午後 3:15～4:45 (アーカイブあり)

「経絡治療の実際」

講師 橋本 厳 先生 (経絡治療学会 理事 いわなみ鍼灸院 院長)

1日の聴講料(午前・午後をそれぞれ) 事前申込みは必要です

■大阪府鍼灸師会会員: 1,000円
(日本鍼灸師会会員、大阪府鍼灸マッサージ師会会員、
大阪府柔道整復師会会員、全日本鍼灸学会会員、学校協会教員も同じ)

■学生: 無料 (WEB参加限定) ■会員外 一般: 2,000円

■開催方法 ハイブリッド開催(会館受講+WEB受講)

■参加申込 事前申込制(先着順)
会館受講 30名 WEB受講 300名

■申込方法 下記QRコード、大鍼会研修申込みサイト(manaable:
マナブル)にて7月22日より申込み開始致します。

会場<WEB配信会場>

大阪府鍼灸師会館 3 階

〒530-0037 大阪市大阪市北区松ヶ枝町6-6

大阪メトロ 堺筋線・谷町線「南森町駅」から徒歩8分
JR 東西線「大阪天満宮駅」から徒歩5分

単位について

東洋療法研修試験財団および大阪府鍼灸師会の研修単位 (各2単位) が取得できます。

お問い合わせ先

公益社団法人 大阪府鍼灸師会 MAIL: study@osaka-hari9.jp
〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町6-6 https://www.osaka-hari9.jp

令和7年8月10日(日)		
10:00～12:00 霊枢勉強会 (ハイブリッド開催)	演題 ・霊枢勉強会 夏季特別講義「五臓診察について」(ハイブリッド開催) 講師 篠原 孝市 先生 日本鍼灸研究会 代表	大阪府鍼灸師会館 3階
令和7年9月14日(日)		
10:00～12:00 霊枢勉強会 (ハイブリッド開催)	演題 ・霊枢勉強会 陰陽清濁 第四十 (ハイブリッド開催) 講師 篠原 孝市 先生 日本鍼灸研究会 代表	大阪府鍼灸師会館 3階
13:30～16:45 学術講習会 (ハイブリッド開催)	演題 ・学術講習会 全日本鍼灸学会C講座 (ハイブリッド開催・アーカイブあり) 「経絡治療の基礎と本質」 講師 橋本 厳 先生 経絡治療学会 理事 いわなみ鍼灸院 院長	大阪府鍼灸師会館 3階
	演題 ・学術講習会 全日本鍼灸学会C講座 (ハイブリッド開催・アーカイブあり) 「経絡治療の実際」(実技供覧) 講師 橋本 厳 先生 経絡治療学会 理事 いわなみ鍼灸院 院長	

※開催の講習会を(公社)全日本鍼灸学会認定講座として指定します。
2 講座の指定で単位は 2 単位となります

■ ご不明な点やお問い合わせは『大阪府鍼灸師会』まで

E-MAIL: study@osaka-hari9.jp
(研修委員会 清藤)



霊枢勉強会報告

〈講師〉日本鍼灸研究会代表 篠原 孝市 先生 〈会場〉大阪府鍼灸師会 会館3階

第50回

令和7年(2025年)5月11日(日)

〈出席者〉会場参加者 14名

○『黄帝内経靈樞』 五閱五使(ごえつごし) 第三十七 第一章

○22 帝曰。23 善。24 五色獨決于明堂乎。

22 帝(てい)曰(いわ)く、23 善(よ)し。24 五色(ごしき)獨(ひと)り明堂(めいどう)に決するや、と。
(解説)

*こここの文章を訳すと、このようになるだろうか。

帝(てい)は言った。
「わかった。では、青・赤・黄・白・黒という五色(ごしき)を観る部位というのは、明堂(めいどう)ということの良いのか」と。

*ここで言うことには、顔の色もあるが、顔のかたちも含んでいる。
*24節の「明堂(めいどう)」とは、顔面あるいは鼻を中心にした顔面を指す。「明堂(めいどう)」という言葉自体は「鼻」のことを言うが、ここでの「明堂(めいどう)」は顔面を意味しているよう。

○25 岐伯曰。26 五官已辨。27 闕庭必張。28 乃立明堂。29 明堂廣大。30 蕃蔽見外。31 方壁高基。32 引垂居外。33 五色乃治。34 平博廣大。35 壽中百歳。

25 岐伯(きはく)曰(いわ)く、26 五官(ごかん)已(すで)に辨(わ)かち、27 闕庭(けつてい)必ず張り、28 乃(すなわ)ち明堂(めいどう)を立(た)つ。29 明堂(めいどう)廣大(こうだい)に、30 蕃蔽(はんへい)、外(そと)に見(あら)われ、31 方壁(ほうへき)高基(こうき)、32 引き垂れて外に居(お)る。33 五色(ごしき)乃(すなわ)ち治まり、34 平博廣大(へいはくこうだい)なれば、35 壽(じゅ)、百歳なるに中(よろ)し。
(解説)

*26節の「五官(ごかん)已(すで)に辨(わ)かち」というのは、診察には観るべきからだの場所が必要であり、それがすでに分別されているのだと言っている。たとえば肝(かん)の氣(き)は目で観る。肺(はい)の氣(き)は鼻で察する。腎(じん)の氣(き)は耳で察する、それが五官(ごかん)已(すで)に辨(わ)かたれた状態だと言える。

*27節の「闕庭(けつてい)」について『靈樞經校釋(れいすうきょうしょうしゃく)』上冊539ページには、このような記述がある。
「“闕庭”:兩眉之間爲闕, 額部爲庭。【“闕庭(けつてい)”:兩眉の間(かん)を闕(けつ)となす。額部(がくぶ)の庭(てい)をなす。】」

*「闕庭(けつてい)」とは眉間(みけん)と額(ひたい)を指す。闕庭(けつてい)が張るというのは、眉間からひたいにかけての色がくっきりとしている、あるいは、つやがあるという意味である。また、おでこが高く張っている、という意味もあろう。

*28節の「明堂(めいどう)を立つ」というのは、顔の診察が出来るようになるのだ、と言っているようか。

*29節の「明堂(めいどう)廣大(こうだい)」は、ひたいが広いのであろう。

*30節の「蕃蔽(はんへい)」について『靈樞經校釋(れいすうきょうしょうしゃく)』上冊539ページにこのようにある。
「“蕃蔽”:兩頰外側爲蕃, 耳門爲蔽。【“蕃蔽(はんへい)”:両ほほの外側を蕃(はん)となす。耳門(じもん)を蔽(へい)となす。】」

*郭霽春(かくあいしゅん)という人は彼の著書の中でこのように記している。
「蕃蔽:馬蒔曰:“頰側謂之蕃, 耳門謂之蔽。”【蕃蔽(はんへい):馬蒔(ばじ)はこのように言う。“ほほの側、これを蕃(はん)と言う。耳門(じもん)、これを蔽(へい)と言う。】」

*ほほから耳にかけて張り出しているものが「蕃蔽見外。【蕃蔽(はんへい)外に見(あら)わる】」というものである。外側に向かってほほから耳にかけて張り出していて、くぼんでいないものを指して、そのように言っている。

*31節の「方壁(ほうへき)高基(こうき)」について『靈樞經校釋(れいすうきょうしょうしゃく)』上冊539ページにこのようにある。この解釈はとてもわかりやすい。

「“方壁高基” 面部肌肉曰壁, 方壁即面方而肌肉豐厚。下顎部曰基。高基, 即指下顎部位高厚隆滿。【“方壁高基” 面部(顔)の肌肉(きにく)を壁(へき)と曰(い)う。方壁(ほうへき)とは、すなわち面方(めんほう)、顔が四角で大きい、そして肌肉が豐厚(ほうこう)、つまり分厚くて、ふっくらしている。下顎部のことを基(き)と曰(い)う。高基(こうき)というのは下顎部が分厚いものを言う。すなわち下顎部が高く分厚くて盛り上がっているものを指す。】」

*32節の「引き垂れて外に居(お)る。」も、『靈樞經校釋(れいすうきょうしょうしゃく)』に注が引かれている。それによると、まず耳たぶが大きく垂れ下がっているものを上げている。他にも孫鼎宜(そんていぎ)という人の解釈も引用している。こちらの解釈では齒莖のことを言うのだと言う。中国の注解者がこちらの解釈をいくつも引用している。しかし、わたしは、耳たぶが大きく垂れ下がっている方の解釈を採りたい。

33節の「五色乃治。【五色(ごしき)乃(すなわ)ち治まる。】」というのは、五藏(ごぞう)の氣(き)の表れである五色(ごしき)が、安定した状態にあることを言っている。「治(ち)」とは整った状態のことである。

34節の「平博廣大(へいはくこうだい)とは、どのようなものかと言うと、ここでは五色が安定した状態を指す。真っ黒でも、真っ赤でも真っ黄色でも、真っ白でも真っ青でもない調和のとれた状態、そんなものを言っている。これは病状のない一般の人の顔色が土台になっている。やはり真っ青な顔や、真っ白な顔、真っ赤な顔というものは、見るとびっくりする。これらを五藏(ごぞう)の不調和と見ている。また五官(ごかん)、目、耳、口、鼻というものが安定したものも、平博廣大(へいはくこうだい)と言えるだろう。

*「平博廣大(へいはくこうだい)」を、そのまま解釈すると、顔面が広くて明明白白だというふうに読めてしまうが、この部分の諸家の注を読むと、やはり五官(ごかん)、目・舌・口・鼻・耳というものが平常な状態であることを指しているようだ。

*35節の「壽中百歳」について、郭霽春(かくあいしゅん)という人は、その著書においてこのように記している。
「中: 應當。《廣韻・一東》: “中、宜也。”」

*「35壽(じゅ)、百歳(ひやくさい)なるに宜(よろ)し。」

* 中国医学の特徴というのは未来を予見するということではない。ここで「壽(じゅ)、百歳になるに中(よろ)し。」というのは、百歳まで生きますよ、ということではない。現在のからだの状態から見ると予後は良いですよということの象徴として言っているだけである。

*『靈樞』の森を歩いてみませんか。毎月休まず第二日曜午前10時から12時まで、大阪府鍼灸師会館3階です。勉強会の案内につきましては本会ホームページをご確認下さい。次回は7月13日(日)、『靈樞』「血絡論(けつらくろん)第三十九」です。

八月の「霊枢勉強会」は特別講義となります。年に一度、テーマを選んで篠原先生にご講義頂きます。お楽しみに。

(霊枢のテキスト〈日本内経医学会 発行, 明刊無名氏本〉は現在1冊の在庫があります。1冊 1,600 円です。受講申し込み時、または当日、受講受付けにてお問い合わせください)

(霊枢勉強会世話人 東大阪地域 松本政己)

第50回 | 令和7年(2025年)5月11日(日)

○『黄帝内經靈樞』逆順肥瘦(ぎゃくじゅんひそう)第三十八一部を抜粋)

○58 黄帝曰。59 刺瘦人奈何。60 岐伯曰。61 瘦人者。62 皮薄色少。63 肉廉廉然。64 薄脣輕言。65 其血清氣滑。66 易脱于氣。67 易損于血。68 刺此者。69 淺而疾之。

58 黄帝(こうてい)曰(いわ)く、59 瘦人(そうじん)を刺すこと奈何(いか)ん、と。60 岐伯(きはく)曰(いわ)く、61 瘦人(そうじん)は、62 皮(ひ)薄く色(いろ)少なく、63 肉(にく)、廉廉然(れんれんぜん)たり。64 脣(くちびる)を薄くして言(げん)を軽々(かるがる)しうす。65 其(そ)の血清(きよ)く、氣(き)滑(なめ)らかにして、66 氣(き)を脱(だっ)し易(やす)く、67 血を損(そん)じ易(やす)し。68 此(こ)れを刺す者は、69 淺(あさ)くして之(こ)れを疾(すみ)やかにす、と。

(解説)

*黄帝(こうてい)が岐伯(きはく)に、瘦(や)せている人に針を刺すには、どのようにしたら良いのかを問うている。岐伯(きはく)が言うには、瘦せている人というのは、皮膚が薄くて、色が浅いのだと言う。そして肉廉廉然なののだと言う。

*63節の「肉廉廉然(にく、れんれんぜん)たり。」とは「廉廉然(れんれんぜん)」というのは瘦せている状態を指す。とても瘦せていて、体表から骨の輪郭が見えている状態を言う。校注を以下に記した。

*『靈樞經校釋(れいすうきょうこうしゃく)』上冊の545ページにはこのように記されている。「廉廉然”：瘦薄的様子。丹波元簡：“瘦臞而見骨骼。”」

*郭霽春(かくあいしゅん)氏はこのように記している。「肉廉廉然：按：《禮記・樂記》孔疏“廉、謂廉稜。”廉廉然“是形容消瘦骨立如見稜見角。”」

*廉廉然(れんれんぜん)とは、とても瘦せていて、骨が体表からも見える状態のことを言う。

*64節の「脣(くちびる)を薄くして言(げん)を軽々(かるがる)しうす。」について適切な注解はない。この文章に注を入れている注解者がいないというところに、この部分が難解なことを示していよう。

*瘦せているから、くちびるも薄くて、又ものごとを簡単に口にしてしまうということもあるかも知れない。

*「65 其(そ)の血清(きよ)く、氣(き)滑(なめ)らかにして、66 氣(き)を脱(だっ)し易(やす)く、67 血を損(そん)じ易(やす)し。68 此(こ)れを刺す者は、69 淺(あさ)くして之(こ)れを疾(すみ)やかにす、と。」

*肥ってからだの中に残る場合は、その血が、にぎったというふうに判断するのであろう。氣(き)が滑(なめ)らかだと、氣がどんどんとからだの中をめぐって便(べん)や尿(にょう)として体外へ出て行くことになる。そういうことで氣(き)を脱しやすい。そして血(ち)を損じやすい。そうであるから、鍼を浅く刺して、鍼を刺してから抜くまで、あるいは鍼をしてから皮膚から離すまでの時間を早くするのだと、そういうことを言っている。

○70 黄帝曰。71 刺常人奈何。

70 黄帝(こうてい)曰(いわ)く、71 常人(じょうじん)を刺すこと奈何(いかん)、と。

(解説)

*「では、一般の人への鍼の刺し方はどのようなか」と、黄帝(こうてい)は岐伯(きはく)に問うている。

○72 岐伯曰。73 視其白黑。74 各爲調之。

72 岐伯(きはく)曰(いわ)く、73 其(そ)の白黑(はくこく)を視て、74 各々之(こ)れを調(ととの)えることを爲(な)す。

(解説)

*73節の「視其白黑。【其(そ)の白黑(はくこく)を視て、】」について、

張介賓(ちょうかいひん)という人は、このように言っている。

「視其白黒者、白色多清、宜同瘦人、黑色多濁、宜同肥人、而調其數也。【其(そ)の白黒(はくこく)を視るとは、色(いろ)白くして清(きよ)きこと多し。宜(よろ)しく瘦人(そうじん)に同じ。色(いろ)黒(くろ)くして濁(にご)ること多し。宜(よろ)しく肥人(ひじん)に同じ。而(しか)して其(そ)の數(かず)を調(ととの)うなり。】」

*おおむね、このようなことを言っていようか。

人のからだの色を視て、白い色であれば、どちらかと言えば血(ち)が澄んでいる状態で、瘦人(そうじん)と同じように見るのである。黒色(こくしょく)で多く濁っていると言う場合は、太ってる人と同じように見る。

*張介賓(ちょうかいひん)は、からだの色の白黒だけを見る場合は、そのような判断をしなさいと言っている。

○75 其端正敦厚者。76 其氣血和調。77 刺此者。78 無失常數也。

75 其(そ)の端正敦厚(たんせいとんこう)なる者は、76 其(そ)の氣穴(きけつ)和調(わちょう)す。77 此(こ)れを刺す者は、78 常(つね)の數(かず)を失すること無(な)かれ、と。

(解説)

*75節の「端正敦厚(たんせいとんこう)」とは、文字通り生活態度、からだの状態に重厚感があって、過度に食べたり、また食べなかったりすることもない状態を言う。そういう状態であれば氣血が和調(わちょう)、氣血が調和するのだと言っている。

*『太素(たいそ)』という本によると「端正敦厚(たんせいとんこう)」の「敦(とん)」が「屯(とん)」になっている。

*『甲乙經(こういつきょう)』という本によると「端正敦厚(とんこう)」の「敦(とん)」が「純」の字になっている。

いずれにしても、あまりわかりやすいものではない。

*張介賓(ちょうかいひん)という人はこのように言う。

「其端正敦厚者、是即常人之度、當調以常數。經水篇曰、「足陽明、刺深六分、留十呼。足太陽、深五分、留七呼。足少陽、深四分、留五呼。足太陰、深三分、留四呼。足少陰、深二分、留三呼。足厥陰、深一分、留二呼。手之陰陽、其受氣之道近、其氣之來疾。其刺深者、皆無過二分、其留皆無過一呼、其少長大小肥瘦、以心療之。」、此即常數之謂、而用當酌其宜也。

【其(そ)の端正敦厚(たんせいとんこう)なるものは、是(こ)れ即(す)なわ)ち常人(じょうじん)の度(ど)、當(まさ)に調(とと)えて、常數(じょうすう)を以(もつ)て、す。經水(けいすい)篇に曰(い)う。「足の陽明(ようめい)、刺すこと深さ六分(ろくぶ)、留めること十呼(じゅつこ)。足の太陽、」(**後の文は省略します。同じ要領で読んでください。】

*78節の「常(つね)の數(かず)を失すること無かれ、と。」は、それを越えるかたちで治療してはいけなないと、そんなことを言っているのだ。

*『靈樞』の森を歩いてみませんか。毎月休まず第二日曜午前10時から12時まで、大阪府鍼灸師会館3階です。勉強会の案内につきましては本会ホームページをご確認下さい。今回は 8月10日(日)、ふだんの『靈樞』のシリーズから外れた特別講義です。テーマは『五藏(ごぞう)診察について』、おもしろい、そしてためになる。おすすめです。

(靈樞のテキスト〈日本内経医学会 発行、明刊無名氏本〉は現在1冊の在庫があります。1冊 1,600 円です。受講申し込み時、または当日、受講受付けにてお問い合わせください)

(靈樞勉強会世話人 東大阪地域 松本政己)

大阪府鍼灸師会 学術講習会より 講習会不参加理由アンケートのお願い

平素より大変お世話になっております。

このたび、昨年度（令和6年度）開催の講習会にご参加いただけなかった方を対象に、不参加の理由をお伺いしております。

今後の企画・運営の参考とさせていただきたく、下記アンケートへのご協力をお願いいたします。



<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeqrjLFvAFjaHG401y3vsNUwIR2ENAMPivxCBuzQj-hdkLMLA/viewform>

公益社団法人 大阪府鍼灸師会 主要行事予定表（7月14日現在）

1. 令和7年8月予定

日	曜日	主要行事	場 所	開催時間
5	火	会費引き落とし日		
7	木	生保労災審査会・相談会	会館2階	15:00～17:00
10	日	霊枢勉強会 夏期特別講義	会館3階+WEB配信	10:00～
9～10	土～日	令和7年度 理事・監事・地域代表者一泊研修会	京都 聖護院御殿荘	17:00～
31	日	ケアマネ受験対策講座	会館3階+WEB配信	13:00～15:00

2. 令和7年9月予定

日	曜日	主要行事	場 所	開催時間
4	木	第4回正副会長会議	会館2階	20:00～
6	土	生保労災審査会・相談会	会館2階	15:00～17:00
6～7	土～日	吹田市 みんなの健康展	吹田文化会館（メイシアター）	
7	日	第5回理事会	会館3階	
14	日	霊枢勉強会・学術研修会	会館3階+WEB配信	10:00～
14	日	近畿ブロック会議（福井）		

3. 令和7年10月予定

日	曜日	主要行事	場 所	開催時間
4～5	土～日	日鍼会 全国大会inつくば	つくば国際会議場	
8	水	生保労災審査会・相談会	会館2階	15:00～17:00
12	日	霊枢勉強会	会館3階+WEB配信	10:00～
19	日	生保労災新規登録講習会	会館3階	9:00～14:00

● 広告募集のお知らせ ●

編集・情報化委員 廣橋久美子

大阪府鍼灸師会では、広報誌『Fresh』およびメールマガジン『いかなごう』への広告掲載を募集しています。会員の皆さまはもちろん、企業・団体様、非会員の個人の方からのご依頼（求人・宣伝等）も歓迎いたします。

料金、掲載サイズ、広告掲載規程などの詳細は[こちら]からご確認いただけます。



お申込みは、公式ホームページの「様式集ダウンロード」より所定の申込書をご利用ください。

